

すずき なおと  
【一宮町長賞】 鈴木 直人

初恋のあなたへ

鈴木 直人

あれから28年もの時が経ってしまいました。  
あなたはきっと、素敵な女性になっているのでしょうね。  
覚えているだろうか、僕が学校にキリギリスを持っていった時の事。  
女子は皆虫嫌いなのか、「キャー」と近寄ってすら来なかった。  
でも君は、僕の横に座り、「かわいいね」とキリギリスを  
褒めてくれたね。  
「あげるよ」と声をかけると立ち上がって  
「ありがとう。大切にするね」と無邪気に喜んでくれたね。  
君は気付いてないだろうけど、給食の時間、君の近くで  
食べたくなって、わざと君の近くに机をずらしたんだ。  
僕は君の近くに居られるだけで、幸せだったんだよ。  
運動会のリレーの時、君が1走者、僕は8走者だったね。  
君が走る姿を、僕はかたずを飲んで見守っていたんだよ。  
衝撃だったのはそう、教室の雑巾がけを君と並んで  
やっていた時の事。  
君は僕に直球を投げってくれたんだ。  
「私、ナオト君のことが好き。」  
嬉しかった……。でも恥ずかしくて、はぐらかしてしまった。  
翌年のクラス替えで、君とは違うクラスになり、それからは  
すれ違っても、声をかけ合わなくなってしまったね。  
私は今、心の病を患い失業中ですが、あなたへこの手紙を  
書きました。  
あなたのこれからの幸せを、心からお祈りしています。

(千葉県／36歳／無職)

